

令和 4 年 6 月 1 7 日

所属 文化・教育・くらし創造部文化財保存課

担当 記念物・埋蔵文化財係

電話 0 7 4 2—2 7—9 8 6 6

令和 4 年 6 月 17 日（金）に開催されました国の文化審議会文化財分科会（会長 佐藤 信）において、史跡名勝天然記念物等の指定が答申されました。そのうち奈良県に関するもの（2 件。史跡 郡山城跡（新指定）、特別史跡 藤原宮跡（追加指定））について、お知らせします。

史跡の新指定 1 件

1. 名 称 郡山城跡（こおりやまじょうあと）
2. 所在地 大和郡山市城内町 外
3. 面 積 指 定 地 ： 162,177.28 m²
4. 概 要

奈良盆地の西ノ京丘陵南端に位置する近世城郭。天正 1 3 年（1 5 8 5）に豊臣秀長が入城し畿内統治の拠点として大規模に整備が行われ、関ヶ原の戦い以後は譜代大名が城主となった。天守台のある本丸を中心に、毘沙門曲輪などの曲輪群、内堀、鷺堀などからなる。曲輪の周囲は石垣で築かれ、転用石材が多いのが特徴。（奈良盆地の西ノ京丘陵南端に位置する近世城郭。豊臣政権の畿内統治の拠点となった）

史跡の追加指定 1 件

1. 名 称 藤原宮跡
(ふじわらきゅうせき)
2. 所在地 橿原市高殿町、醍醐町 外
3. 面 積 既 指 定 地 ： 937,207.02 m²
追加指定地 ： 19,627.79 m²
4. 概 要

持統天皇 8 年（6 9 4）から和銅 3 年（7 1 0）まで営まれた古代の都城跡。藤原京跡の中心部に位置し、約 1 k m 四方の区画内に内裏・大極殿、役所群が建てられた。指定地南西部で条件の整った部分を追加指定する。